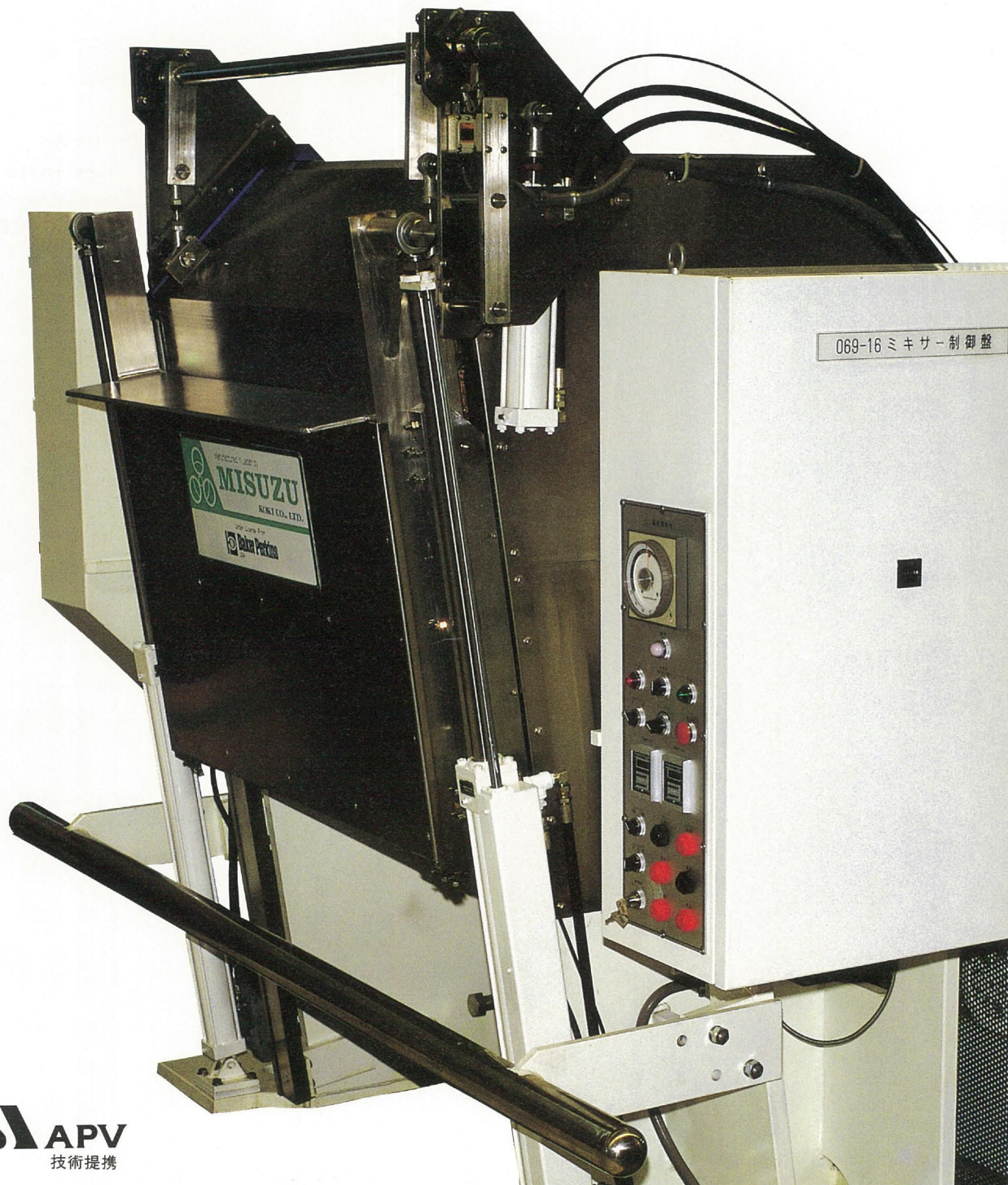


MISUZU

069 SERIES 069-12/069-16/069-20/069-25 STATIONARY BOWL

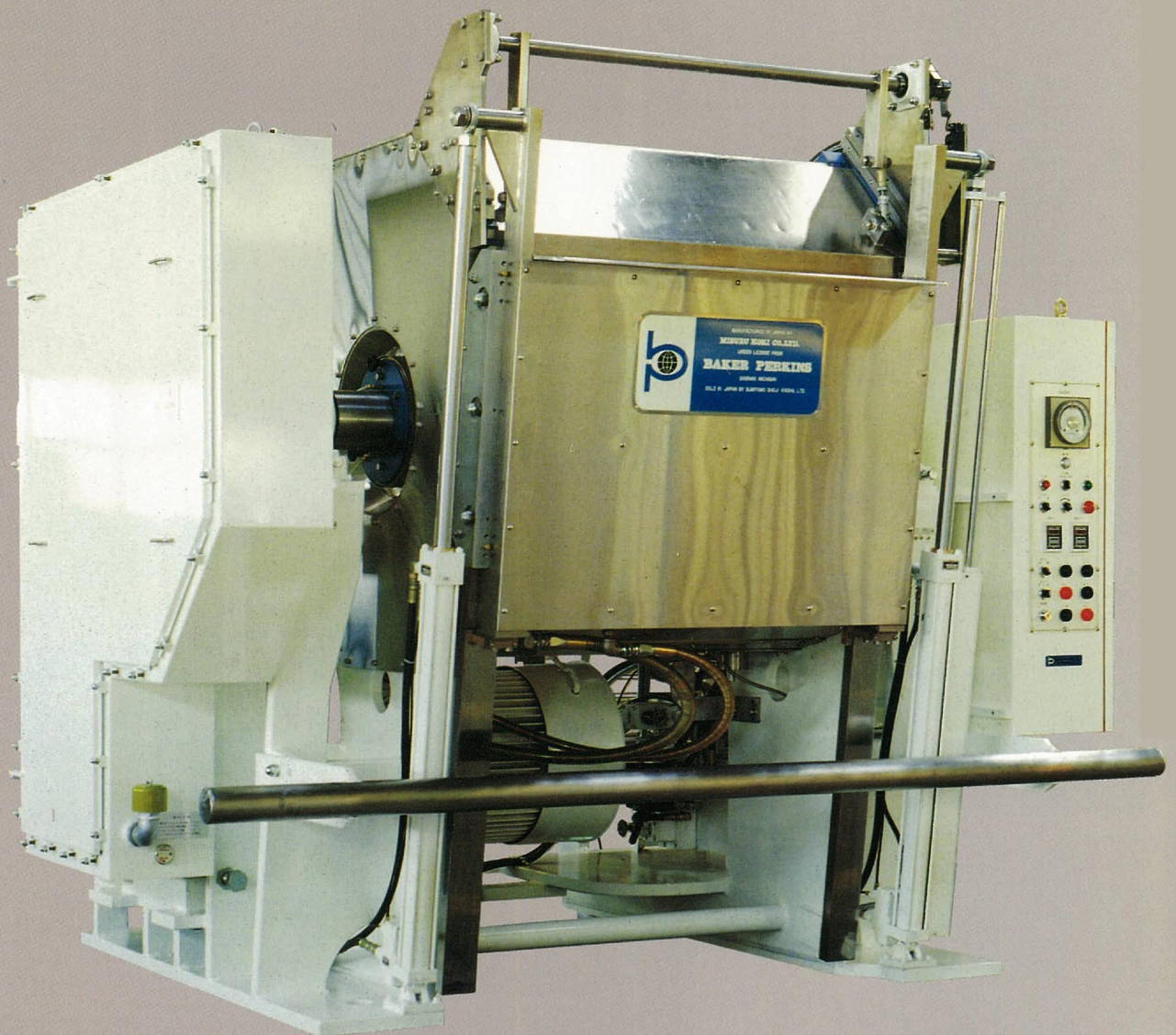
HIGH SPEED DOUGH MIXER

高速度 ドウ・ミキサー



オープン・フレームデザインが、/ドウ・ミキサーの
新しいフォルムを創る。

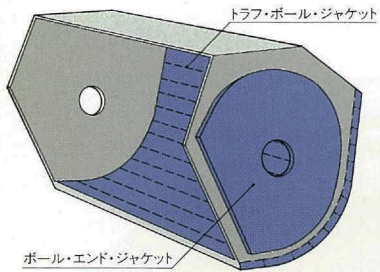
069^{SERIES}
STATIONARY BOWL
HIGH SPEED
DOUGH MIXER



ドウ ミキサーづくり80年のアメリカ・ベーカリーパーキンス社、そして三鈴工機のノウハウが凝縮したドウ ミキサー069シリーズ。衛生上の要求の厳しいアメリカ合衆国・製パン工場衛生管理基準 (BISSC) をクリアする069シリーズはブラインド部分をなくした、新しいメカニズムです。トラフ・ボール、ドア、アジテーター・ドライブ・ボックス、コントロールパネルの各セクションが新たに開発されたオープンフレームに支持されており、重量分布がより平均化され、かつ重心が低いので床振動が大幅に軽減されています。また、トラフ・ドア及びスポンジ・ドアの開閉には初めて油圧シリンダー方式を採用して信頼性を高めたり、生地が接触する面はすべてステンレススチールを使用、主駆動部には全密閉型2速モーターを使用するなど、使いやすさと保守性をつきつめて仕上げられています。

トラフボールも進化する。

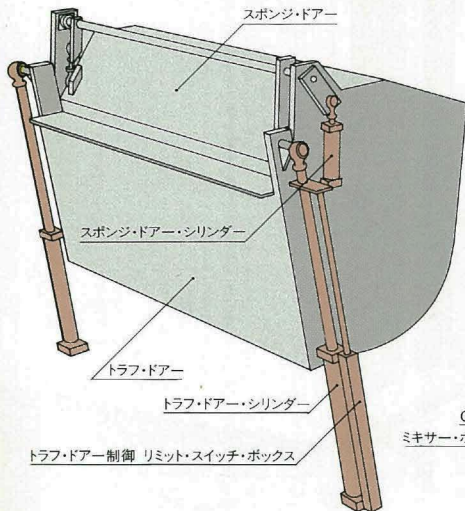
高品質なドウをつくるために、洗練された形状のトラフボールが必要です。069シリーズのトラフボールは、500シリーズ、900シリーズを経て、ペーカーパーキンス80年の経験から生まれた先進のカチです。069-12型から069-25型まで、大きさだけが異なる同一形状とし、キックアウトも非常に良く、また、材質は、トラフボール、冷却ジャケットともSUS製で腐蝕の心配が全くありません。



トラフドアーの開閉に

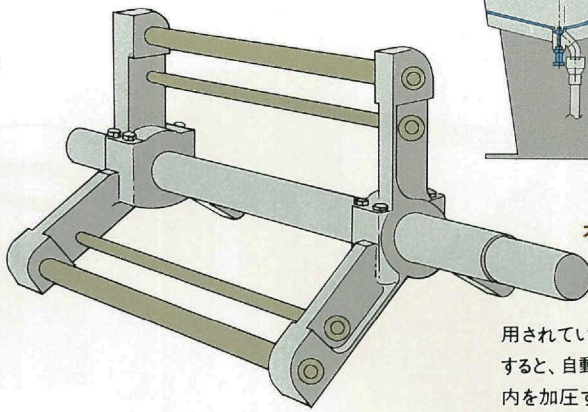
油圧シリンダー方式を初めて採用。

従来のメカニカルドライブから、069シリーズがドウミキサーで初めての油圧シリンダー方式を採用。音が静かで、動きもとてもスムーズです。またメカニカルな部品が少なくなり、シンプルな構造ですから、メンテナンス時にも有利です。クリーンアップボタンを押すとトラフドアーがトラフボール下面まで下降し、シール面までの全てがオープンとなり、掃除が大変容易となり衛生管理上も向上しました。さらに手動回路も備えており万一の場合にも安心です。



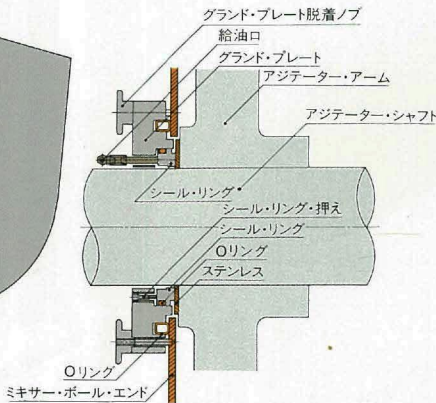
究極の3アーム・アジテーター。

アジテーターは3対計6本のアームにより構成されています。外側に径の大きいメイン・バー、内側に径の小さいセカンド・バーが1対となっています。ドウ生地を切りさかないよう丸みをもたせてあり、さらに生地がまとまりやすい角度を選んでいます。そのためボールエンドには生地が附着することがありません。



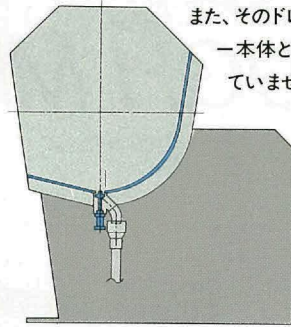
サニタリーグランドシール。

従来の軸面でのシール方式に変えて、軸に取付けたフランジ面でシールする方式を採用。固形化した生地で、軸にダメージを与えることがなくなりました。また、水もれを防ぐネオプレン・ゴム製のシールは回転部とは非接触構造となっており、摩擦することがありません。グランドプレートは取付けノブをはずせば、ボールエンド面から離れますので掃除がきわめて簡単できます。



オート・ドレイン。

これまで一般的であったリンク方式から、エア・シリンダーによる開閉方式にしました。これにより、トラフボールの洗浄が操作ボタンをオンするだけで素速く簡単に行えるようになりました。

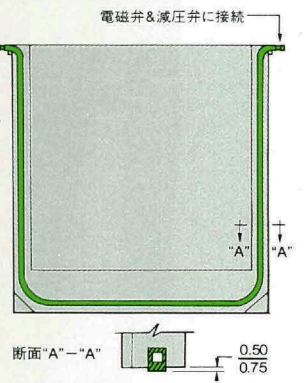


また、そのドレイン孔はミキサー本体とは直接、継がっていませんので、万一、配管等がつまっても洗浄水がトラフボール内に逆流する心配がなくなりました。

オート・ドアー・シール。

トラフドアーのシール材は、耐久性の優れた特殊なチューブが採用されています。ドアーが上昇して閉位置に達すると、自動的にエアが送り込まれ、チューブ内を加圧することにより、ドアーとボール面を密着させるため、水漏れ等がありません。また、

下降する時には、自動的に減圧してシール材の摩擦を最小限にとどめています。この他、エア圧を最適に設定できるようレギュレーターバルブも装備しています。



ワンサイド・オペレーション。

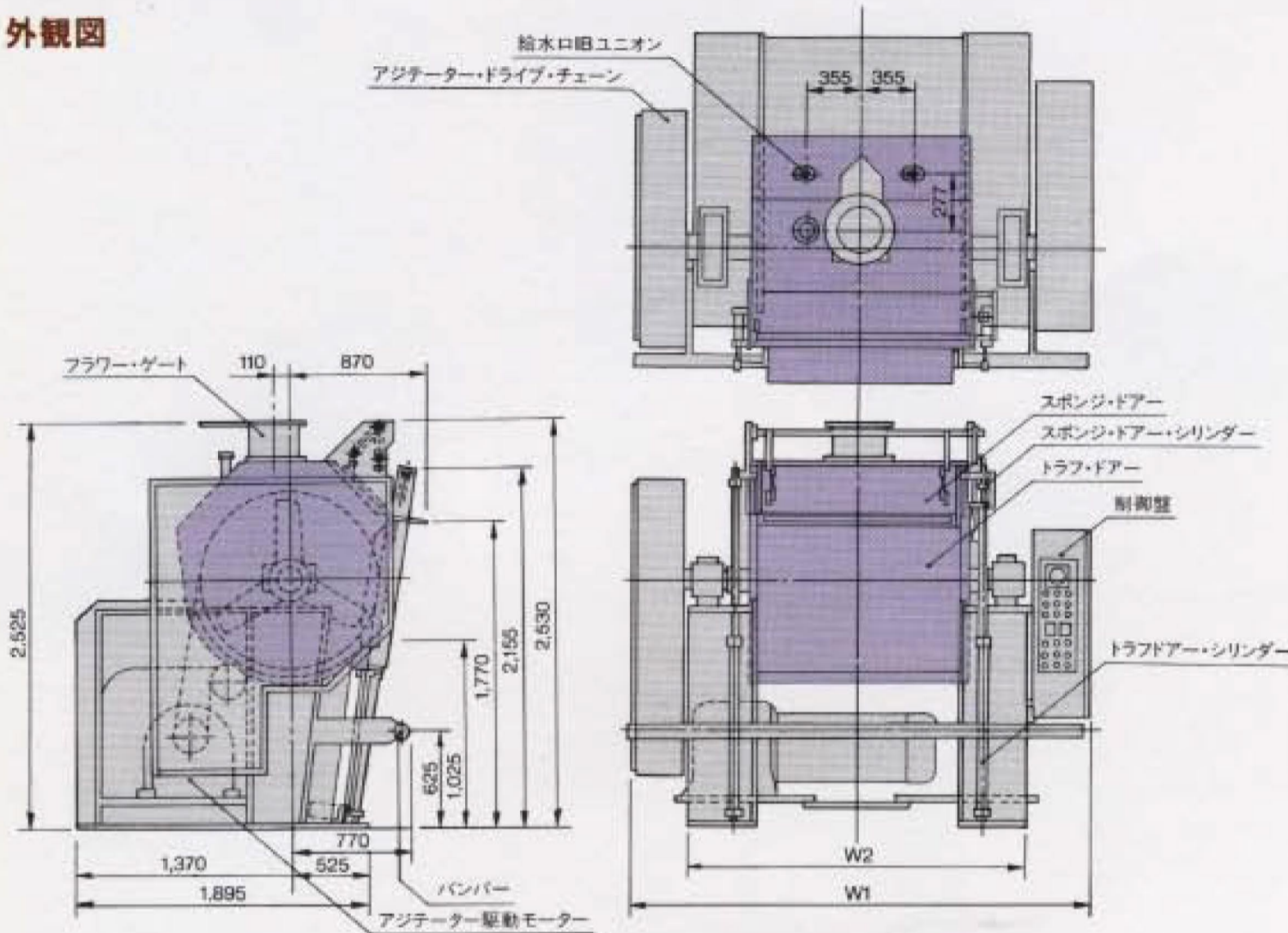
温度計、ミキシングタイマー、操作スイッチ、および表示灯は全てコントロールパネルに簡潔にまとめられ、一段と見やすく操作性が向上しました。



069シリーズ 基本仕様

項目	型名	069-12	069-16	069-20	069-25
混捏生地重量	1.本捏生地重量	544kg	725kg	907kg	1,134kg
	2.中種最大(標準モーター)	327kg	435kg	544kg	680kg
	3.全生地最小(標準アジテーター)	272kg	363kg	454kg	454kg
回転数		33-66RPM	33-66RPM	33-66RPM	33-66-RPM
動力	1.アジテーター	18.5/37KW	22.5/45KW	27.5/55KW	37.5/75KW
	2.ドア・スポンジドア用油圧ユニット	2.2KW	2.2KW	2.2KW	2.2KW
所要スペース	1.全幅:W1	2,680mm	2,985mm	3,290mm	3,290mm
	2.ベース幅:W2	1,864mm	2,172mm	2,476mm	2,476mm
重量及び床荷重	1.本機重量	6,900kg	7,575kg	8,850kg	9,300kg
	2.衝撃(運動エネルギー)	83kg-m	125kg-m	166kg-m	194kg-m

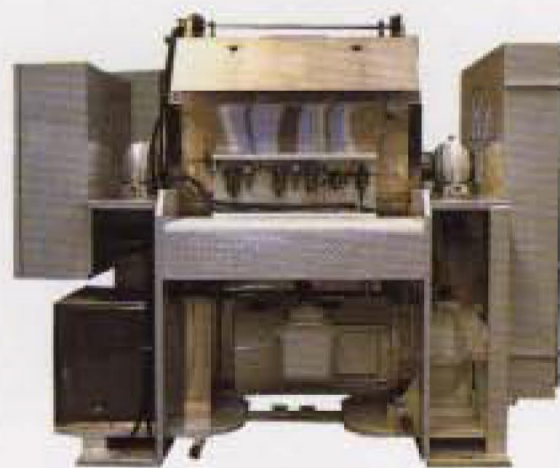
外観図



●製品の色は印刷のため実際とは若干異なることがあります。



正面



背面

※本カタログの仕様は予告なく変更することがあります。

■ カタログの請求、お問い合わせは

■ 製造・販売元

 **三鈴工機株式会社**

〒510-0103 三重県四日市市楠町北五味塚530番地
PHONE(059)397-3211 FAX(059)397-3217
本社営業部 〒510-0103 三重県四日市市楠町北五味塚530番地
PHONE(059)397-3216 FAX(059)397-3217
東京支店 〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目2番1号(大門KSビル3階)
PHONE(03)3434-2936 FAX(03)3434-2939
大阪支店 〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目10番20号(南船場満呂木ビル5階)
PHONE(06)6241-1091 FAX(06)6241-1093

■ 販売元